

## 被災地へのボランティア報告

群馬県からの要請で、東日本大震災の被災地の1つ、宮城県気仙沼市へ3月25日から5月1日までスタッフ交代でのべ28日間、介護ボランティアへ行きました。5月以降は、東京都で一括して被災地への介護ボランティアを派遣し群馬県からの派遣はなくなりますが、また要請があればすぐに協力をしていきたいと考えています。

### 4月6日～11日 気仙沼高校



3月11日、東日本大震災発生。多くの方が悲しみと恐怖に襲われました。『何とかしたい』『少しでも笑顔を届けたい』そう思っていた時、宮城県への介護職員の派遣要請がありました。私は迷わず『行きたい!』と強く思いました。

3月後半からスタートした介護職員の派遣ボランティアでしたが、私は4月6日～11日の期間の参加をさせていただきました。私が行った期間は30名程の介護スタッフに参加しており、道中から地震の影響で高速道路もガタガタな状態になっており本当に悲惨な状態でした。宮城県へ到着してからは、数名のチームに分かれ避難所でのお手伝いを行い、私は気仙沼高校への派遣でした。テレビでも報道されていた通り、小さな子供からお年寄りまでの多くの被災者の方々が体育館の中で身を寄せ合って生活されており、食事は自衛隊やボランティアの方々の炊き出し。

避難所にいらっしゃる方々は、昼間は自宅や職場へ行き後片づけをしたり、買い物へ出掛けたりして夕方戻ってくるという生活でした。そんな中、私たちは高齢者や車いすを使用されている方々に入浴、足浴、清拭などの清潔面のお手伝いを行い、何日も入浴が出来ない状態の方にはとても喜んで頂けました。また、夜間のトイレ誘導や体位交

換もお手伝いを行い、普段はベッドで寝ている方々が多い中での床からの立ち上がり動作がとても大変な様子でした。ほんの束の間ですが、ご家族の方の負担を軽減出来たかと感じます。

また、現地に居て何よりも大切だったのが『心のケア』でした。少しずつ私たちの顔を覚えて頂きながら距離を縮めていき、お話を聞く事が出来ました。『まだ息子が見つかっていない』『仕事も解雇されてお金がないよ・・・』『僕の彼女も死んじゃったよ・・・』など、それぞれの状況を聞けるまでに心を開いて下さり、こんなに辛い状況であっても笑顔で迎えて下さいました。自分が『元気をあげたい』と思って避難所へ向かいましたが、逆に皆さんから元気や勇気を頂きました。少しの時間でしたが、被災地へ行き皆さんと話が出来たこと、ほんの少しですがお手伝いが出来たことを本当に感謝しています。また、このような経験が出来るように協力して下さいました職場の皆さんにも感謝しています。少しずつ前を向いて・・・いつか世界中の皆さんの笑顔が見ることが出来ますように・・・(スーパーデイようざん飯塚 嶋田裕恵)

### 4月22日～27日 気仙沼高校

何も無い。

それが初めて地震の被害をこの目で見た時の感想でした。バスで気仙沼に迎え、担当となった場所へ向かう途中、道の両側に広がる光景に、私は息を飲みました。一面に広がる瓦礫。家があったと思われる場所には、ただ家の基礎部分が残っているのみでした。電柱は折れ、車は潰され、少しばかり残っている建物も、中はからっぽ。山は削られ、木の根がむき出しに。そんな光景を見ながら、次に気付いたのは匂いでした。群馬では感じない磯の香り。

それに混じって、油、そして何か腐ったような臭いが鼻をつきました。ありえない光景、そして普段感じる事のない臭い。行くまでの間、テレビのニュースで被害を見たことはありました。大変なことになっている。そういった感覚も持っていたはずでした。しかし、その時実際に見て、感じるまで私は、未だに今回の地震による被害の悲惨さをわかってはいなかったのです。

そんな光景を見た後、私達は担当となった高校へと到着しました。避難場所となっている高校。そこには、帰る家がない人たちが生活しています。私はどうすべきなのかと悩みました。先程の光景を見た私は、そういった人たちにどう接すればいいのか、それがわからずにいました。地震から未だ一か月。被災者の方々の負った傷を思えば、言葉一つかけることにも注意しなければならない。そんな思いが私にはありました。悲痛な面持ちの人たちにどんな言葉をかければ…。しかし、今思えば私のそんな考えは、被災者の方々への侮辱ですらあったように思えます。生活場所となっている体育館。そこにいた方々は、皆さん笑顔で過ごされておりました。負った傷は決して軽くはないはず。それでも、笑顔で過ごす方々を見て、私は大変な思い違いをしていたのだと痛感いたしました。ここに居るのは、「地震の被害を受けた可哀そうな人たち」ではなく、「地震の被害にあっても前を向いて頑張っている人たち」なのだ。私はそのことを深く感じると共に、それまでの考えを恥じました。そして、改めてこの人たちの力になりたい。そう強く思いました。

今回のボランティアに参加し、学んだ事がいくつかあります。自然は、時として恐ろしいものとして私達の近くにあること。それは、理不尽なまでに様々な物を奪ってってしまうこと。でも、それでも。例えどんな困難に逢おうとも、明日を信じ、前に向かっていける力が人間にはあること。そしてその力は、自分だけでなく周りの人々にも力を与えてくれること。あの時、胸に生まれた想いは、今も私の中にあります。私はこれからも、自分に出来る限りの力で、今回の地震の被災者の方々の力になっていきたい。そして、そんな私の姿を見て、一人でも多くの人と同じような想いを抱いてくれたなら…。それはとても素晴らしいことだと思いました。(ケアサポートセンターようざん双葉 麻生智也)



認知症対応型共同生活介護

# グループホームようざん飯塚

春の日射しが暖かくなり、過ごしやすい季節になりました。皆様、元気にお過ごしでしょうか？こちらグループホームようざん飯塚では近くのたこ公園への散歩、慈眼寺まで桜を観にドライブに行ってみました。色鮮やかな満開の桜の下で写真撮影。とても嬉しそうな笑顔が印象的です。室内活動では歌やボール遊び、かるたを行い、かるたでは普段はおとなしい方が目の色を変えて参戦。手と手がぶつかり合い「私が先に取ったんだよ」という声も聞かれ、今も昔も勝負事はやっぱり燃えるんだなどと改めて実感致しました。製作では桜の貼り絵もきれいに出来上がっています。来月はこいのぼりの貼り絵製作、スーパー

デイようざん飯塚との合流イベントなど取り組んでいく予定です。お近くまでいらっしゃる機会がありましたら、是非お立ち寄り下さい。職員一同、心よりお待ちしております。(赤岩)



小規模多機能型居宅介護

# ケアサポートセンターようざん



例年より少し遅れて開花した桜も、満開の見頃を終え新緑の季節を迎えようとしています。ようやく過ごしやすい季節となりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？東日本大震災の影響でガソリン不足が懸念され、自粛していたドライブも春の訪れとともにようやく再開されました。ケアサポートセンターようざんでは、ドライブや散歩に出かけ満開の桜を眺めたり、

外に出かけたいなどと利用者様の元気な声が聞かれています。室内の制作レクでは、折り紙で鶴を折り、その鶴を重ね合わせ桜やチューリップ、鯉のぼりなどを作ってみました。職員が持ち寄った大きな鯉のぼりを天井から吊るしてもみました。これには皆様大興奮で、普段見る事の出来ない笑顔や歓声が聞かれ、我が家の鯉のぼりは・・・、自分が子供の頃は・・・、子供に買ってあげた鯉のぼりは・・・などなど昔の事を昨日のように思い出され、いつまでも尽きる事のない昔話で盛り上がりました。

近隣の桜まつりに出掛け輪投げやヨーヨー釣りをしたり、敷地内に咲いている桜の木の下で、おやつを食べたり唄を歌って過ごしたりと、積極的に外へ出向き、目・耳・鼻など体全体で、春の空・風・色・匂いを感じて頂きました。今日も花を見に行きたい、散歩に行きたい、

今年目標でもある、地域交流にも力を入れ、4月18日には高崎動物専門学校生徒さんと子犬が遊びに来てくださり、4月22日にはラーメンともやさんがラーメンと餃子のセットを用意して下さい、昼食としておいしく頂きました。

また、4月より新しい職員も2名増え、ますます笑いが絶えない明るいユニットになってきました。これからも、ようざんユニットでは、変わりゆく季節を感じながら、穏やかに楽しい時間を過ごしていけるように、職員一同頑張っておりますので今後ともよろしくお願い致します。(黒川)



認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん飯塚

みなさんこんにちは!

暖かい春の日差しに包まれて桜も満開になりました。

皆様いかがお過ごしでしょうか?さて、今もようざん飯塚の行事についてお話させていただきます。

4月と言えば『桜見学』ですね。『外に出かけたい』『ドライブへ行きたい』、『皆で美味しいものが食べたい』という願いが一気に叶え

られるんです。今年はいつよりも桜の花びらがほっこりして見えたのは、私だけでしょうか?利用者様はもちろん、スタッフも大喜び。桜よりも綺麗な皆様の笑顔を見ることが出来ました。様々な困難な状況がある中で、日本の春の象徴とも言える桜を見て美味しいお弁当を食べて、写真を撮って・・・こんな時間が本当に幸せなひと時なのだと強く強く実感しました。(嶋田)



小規模多機能型居宅介護

## ケアサポートセンターようざん並榎

暖かい日ざしの中4月11日、12日と桜の花見に出かけました。

満開の桜、青い空、公園も山も桜色に染まり「きれいだね、ちょうどいい時期に来られて良かったネ」と皆様の笑顔も満開でした。震災後のガソリン不足で車を使用していたため、久しぶりのドライブに皆様とても喜んで下さいました。桜は日本人にとって特別な物なのかもしれません。これからは芝桜、つつじ、しょうぶに新緑と自然が美しい季節です。体調管理をしっかり行い、安全で楽しいレクリエーションが提供できる様に、たくさんの笑顔が見られるように頑張りたいと思います。余談ですが桜の木の下では女性がきれいに見えるんだそうですよ、忘れなければ、来年ためして見て下さい。(松浦)



認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん石原

この度“スーパーデイようざん石原”の管理者を務めさせて頂くことになりました木暮和子と申します。宜しくお願いします。4月1日よりオープンし、まだまだ利用者様の人数は少ないですが、石原の環境だから出来る事をゆっくりと時間をかけ、利用者様と共に楽しく過ごしていきます。オープンしたばかりのデイサービスに通い始めた利用者様が、

どんな風に過ごして頂いているかご家族様にお伝えする為、日頃の写真を数枚お届けし、ご様子を報告させて頂いたところ、大変喜んで頂き「楽しく過ごせているようで安心しました」との言葉を頂くことができました。これからも職員一同、笑顔いっぱいのデイサービスを目指し、たくさんの利用者様にご利用頂けるよう頑張ってお参ります。(木暮)



小規模多機能型居宅介護

## ケアサポートセンターようざん貝沢



桜が満開です。

4月の初め、桜満開の慈眼寺へお花見に行ってきました。慈眼寺へ到着すると、時々立ち止まりながら満開の桜に見入ったり、とびっきりの笑顔で記念撮影をしたりと、ゆっくり散策をしてみたりしました。帰りの車内で、ご利用者様に感想を伺ってみたところ「満開の桜を今年も見ること

とができて良かったわ」などと皆さんに喜んで頂く事ができました。また、4月の19日から4日間に分けて高崎市内にある天田農園さんへいちご狩りに行ってきました。ハウスの中はいちごのあまあい香りが漂い、真っ赤で大きないちごが沢山実っていました。さっそく用意していただいた練乳の入った容器を持ち、皆さん笑顔で時間いっぱい召し上がっていました。帰りには「もう食べられない」といちごで手の指が赤く染まり、皆さん満腹になって苑に戻って参りました。(須藤)



認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん貝沢

時下春暖の頃、増々御健勝の事とお喜び申し上げます。

ようざん通信の書き出しに頭を悩ませていた私に文才のある利用者様が時候の挨拶文を教えてくださいました。何やら舌を噛んでしまいそうな難しい挨拶で万年寝坊助の私には「春眠暁を覚えず」の方が“お似合い”だったのでしょうか？

さて、震災の影響で自粛していた外出も再開となり、我がスーパーデイようざん貝沢では「待ってました!」とばかりに春のお花見ドライブに出掛けてきました。滝の慈眼寺のしだれ桜から始まり、浜川運動公園、三ツ寺公園、玉村ふれあい公園、鼻高展望の丘へ、桜やチュー

リップ、水仙、菜の花が私達の目を楽しませてくれました。また19日より4日間に分けてケアサポートセンターようざん貝沢と合同で『苺狩り』に出掛けてきました。「昼食後なのであまり食べられないかな・・・」との心配をよそにみんな食べる食べる!!(笑) 普段おとなしく口数の少ない方も最高の笑顔で「おいしいよ!」と話され参加された方全員に「楽しかった。」「いい思いをさせてもらった。」と大絶賛でした。利用者様の笑顔と苺で心もお腹もいっぱいになりました。(酒井)



短期入所生活介護

## ショートステイようざん



鯉のぼりが快晴の空を力強く泳ぐ季節になりました。

さて、4月は日本人が一番心浮き立つ桜の時期となり、ショートステイでも、敷島公園、慈眼寺、進雄神社にお花見に行ってきました。特に敷島公園では、ショートステイ初の試みでお弁当を持って皆で楽しく花見弁当を桜の下で頂きました。「外で食べる弁当はおいしい

ね」「気持ちいいね」と皆様おっしゃり、桜の匂いを胸いっぱいにお腹も気分も満ち足りたお花見を楽しんで頂くことができました。花見の後は制作レクリエーションで“鯉のぼり作り”を行いました。鯉のうろこに見たてて利用者様の手形を布に押ししていきます。ご自分が押された手形をみて、「私のはきれいについたね」と、とても満足して頂きました。今月も暖かな日差しを感じながら、なるべく散歩や外出の機会をつくり、足腰を鍛えつつ、利用者様とともに薫風を楽しんでいきたいと思っております。(石淵)



認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん双葉



花の便りが次々と聞かれる今日、若葉の緑が目にも鮮やかになりました。さて、そんな中スーパーデイようざん双葉では早速、花めぐりのドライブに出かけました。さんしゅうの花の鼻高から始まり、しだれ桜の慈眼寺そして、ソメイヨシノのお堀・市役所・高崎公園へと、まさに春爛漫、満開の桜の美しさに「きれいだね。いいね。」自然と笑

顔がこぼれ、心がほっと暖かくなりました。

誕生日会では利用者様と共に白玉だんごを作ってお祝いしました。そして、製作は、こいのぼりの貼り絵と壁掛け飾りです。おのおの思い思いの色を染めて仕上げた和紙は、何ともいえない風合いで見事でした。折り紙をちぎり、色を合わせて貼る作業では、利用者様の真剣に取り組む姿に日々感動です。完成まであと一息、壁掛け飾りは持ち帰って頂きますので、是非楽しみにして下さい。

私達職員一同これからも安全第一を心がけ、利用者様が安心と幸せで満ち、楽しい一日を過ごしていただけるよう、笑顔いっぱいのスーパーデイようざん双葉をめざして努力して参ります。(柳田)



通所介護

## デイサービスようざん並榎



暖かい日が続くようになり、春の訪れを感じる今日この頃、あちらこちらで桜の花が見事に咲いている場面を見かけるようになりました。私達デイサービス並榎でも慈眼寺、乗附緑地、鼻高展望の丘など、桜を中心として花見にたくさん行きました。晴れやかな青空の下で花見をされる利用者様の顔は笑顔いっぱいの満開でした(笑)。

さらに室外レクとして今年も畑作りを利用者様と一緒に行いました。農家を営んでいた利用者様の様々なアドバイス、そして労働力で今年も素敵な話ができそうです。その他にも室内ゲームや季節の制作物作

り等、色々なレクレーションを取り入れ利用者様、職員ともども楽しく日々過ごしています。

また、今月は新たな慰問として、高崎動物専門学校先生様、生徒様の暖かいご協力のおかげでアニマルセラピーを実施することができました。やはり動物の癒しの力というものはすごいですね。利用者様だけでなく私達職員も思わず笑顔になり、楽しく、そして穏やかな時間を過ごすことができました。ご協力してくださった先生様、生徒様、そしてワンちゃん達(笑)、ありがとうございました。アニマルセラピーだけでなく琴、ギター、お化粧、南京玉すだれ、手品、マジックショー、オカリナ、習字等、沢山の慰問の方々が今月もご協力して下さい、この場を借りてお礼を言わせていただきます。

これからも利用者様が求めるもの、利用者様の笑顔に繋がるものを追求し、ようざんで少しでも多くの笑顔を引き出せるよう、私達職員一同励んでいきたいと思ひます。(行方)



居宅介護支援事業所

## 居宅介護支援事業所ようざん

### 認知症の新薬について

マスコミなどでアルツハイマー型認知症の新薬が認可発売される情報が伝わり、患者さんのいるご家族は期待し、待ち焦がれていることと思います。震災の影響で発売は遅れていますが、今まで認知症薬は塩酸ドネペジル(商品名アリセプト)1種類しかなかったのですが、新たに3種類認可され4種類になります。新発売される3種類の薬はどんな薬なのか調べてみました。特徴を簡単にお知らせいたします。

\* ガラタミン・・・アリセプトより副作用がやや少ない。(商品名：レミニール)

\* リバスタグミン・・・貼り薬。服用を拒否する傾向の方や、服薬の確認がしづらい患者さんに使いやすい。

(商品名：イクセロンパッチ、リバスタッチパッチ)

\* メマンチン・・・海外では中等度から高度の患者さんに用いられている。アリセプトとの併用で有効性が認められている。

(商品名：メマリー)

ガラタミンとリバスタグミンはドネペジル(アリセプト)と作用機序(薬が効くメカニズム)が同じですが、メマンチンはこれらと異なるメカニズムで、アリセプトとの併用でも有効性が認められています。アリセプトの効果が乏しくなった患者さんにとって、新たな治療の選択肢となると思います。またメマンチンの効果として注目されているのは、興奮、攻撃性を認める患者さんの76%で同症状が軽減したというデータがあることです。

次々と発売が予定され期待されるようですが、過大な期待は危険で、これらの新薬はドネペジルを大きく上回ることはないと考えている認知症の権威もいます。どういう事かという、欧米ではアリセプトをはじめこれら新薬は10年以上前から使われていて、そのシェアは60~70%をドネペジルが占め、30~40%を今回日本で発売される新薬と他の薬で占めているそうです。また薬の価格が高いので利用者の負担も大きく、保健医療財政面を圧迫する可能性もあり、新薬だからとやみくもに使用することは慎重が必要があると言ひます。「副作用や効果を見極め、適切な薬を選んでいく」という私たち介護者の目も重要になってきそうです。いずれにしてもアリセプトをはじめ、これら新薬も認知症の進行を遅らせる薬であり、根治薬ではないことを改めて自覚しなくてはなりません、アルツハイマー病の治療の幅を広げるといふ事に期待したいと思ひます。(品田)

認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん



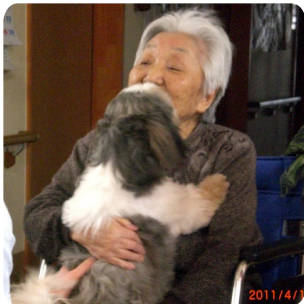
東日本大震災から1ヶ月以上が過ぎ、未だ余震や原発と心配な状況が続いていますが、少しずつ陽気も暖かくなり、花も咲き、体を動かしたり外に出ることも楽しみになってきました。スーパーデイようざんでは日々の生活の延長を基本にご利用者様とのふれあいを明るく楽しんで過ごしていただけるよう心がけています。ドライブや散歩など外出する事も増え、職員もご利用者様も自然

と笑顔が多くなってきました。「お年寄りだから休んでいるほうが楽だろう…」…と思いがちですが「お花見にドライブに行こう。写真も撮りますよ、出かけた人、手を上げて!!」とお誘いすると、両手を上げて背筋も伸ばし笑顔になって「行く!」と元気よく返事をしてくださいませ。できる範囲で体を動かし、たくさん笑って、たくさん話をして季節の美味しい物を食べて満足し、疲れて家に帰りよく休み、また出かける。これが一番いいですね。めぐり来る季節を安心できる顔なじみの関係の生活の中で、十分に楽しんで頂きたいのです。特に今は当たり前だったことが、とても大切だと感じられるときです。大変な思いをしている方たちもたくさんいらっしゃいます、私たちはできる事をできる限り頑張っ



認知症対応型共同生活介護

## グループホームようざん



厳しい冬の寒さも終わり、ようやく暖かい春を迎えました。今回初めて原稿を書かせていただくわけですが、私はグループホームようざんで働き始めて早いもので7ヶ月経ちます。まだまだ学ぶことが多いですが、日々頑張っております。

暖かくなり外出する機会も増え太陽の光を浴びたり、外の空気を吸えるようになり、利用者様もリフレッシュされています。

4月3日に観音山方面へドライブに出掛けたり、4月10日には滝谷不動祭りに行かれました。4月18日のアニマルセラピーでは子犬と触れ合うことが出来ました。子犬の愛くるしいしぐさを見て利用者様も「おいで、おいで」とされたり「かわいい」と言われ、笑顔いっぱいであいぬと触れ合われました。「笑う角には福来る」ということわざもあるように、笑うということは健康促進にもなりとても重要なことです。私も「一日一笑」を心がけ、利用者様に笑顔で過ごしていただけるようなサービスを提供していきたいと思っております。(春山)



<http://www.youzan.jp/>

認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん栗崎

満開の桜がいつしか葉桜になり、若葉が清々しい季節になりました。皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

外出するには良い気候となりスーパーデイ栗崎では、ドライブや散歩にと時間を作っては外出レクに出掛けております。桜の時期には、慈眼寺や石原の公園、藤岡の庚申山へと出掛けました。庚申山ではミニ動物園に寄り、うさぎ・モルモット・ミニぶた・やぎ・アヒル等、園内に放し飼いにされている動物と触れ合うことが出来て、皆様とても良い表情をしておられました。職員も久しぶりにリフレッシュし癒されたひと時を過ごすことが出来ました。

さて、スーパーデイ栗崎もオープンから丸3年が経ち、4月24日に

は『第3回春の祭典』を慰問の松本グループ様のお力をお借りして楽しく行うことが出来ました。東日本大震災を受け自粛ムードの中でのイベントという事でしたが、室内に栗崎の3ユニットが一堂に会し、笑顔溢れる楽しい時間を過ごすことが出来ました。また、製作レク・外出レク・おやつレクなどデイサービスとしてレクリエーションの充実を図っております。5月には花の便りに誘われて、藤やバラのお花見ドライブや利用者様と職員とで協力して昼食作りを計画中です。まだまだ、余震が続く連日の報道にハラハラしながら、被災者の方々を思い“節電や節約”をさらに心がけて参ります。(堤)



小規模多機能型居宅介護

## ケアサポートセンターようざん栗崎

春爛漫の候、爽やかな風に誘われ、利用者様は身も心も外へ外へと向いて、散歩やドライブを楽しまれています。過日、慈眼寺へ“しだれ桜”のお花見に出掛けました。満開の桜が迎えてくれて枝の下をくぐりながら降るような桜を楽しまれた御様子でした。そして見事な桜に負けないくらい、利用者様にも満開の笑顔が見られました。

昨年の猛暑を思い、南側の窓辺に「グリーンカーテンを作ろう!」と朝顔とゴーヤの種を8個のプランターに蒔いたところ、かわいらしい芽が出てきました。利用者様も職員と一緒に水やりを行い、成長を楽しみにされています。春ならではの生命の息吹や季節の移り変わりを感じて頂けるようなケアを行って参りたいと思います。

春といえば、ようざん栗崎3ユニット合同で「第三回春の祭典」を開催しました。時節がら、屋内での催しとなりましたが「綿貫町二段

落とし保存会」と「松本グループ」皆様の協力を頂き今年も楽しく元気な祭典となりました。民謡や三味線・尺八・太鼓などの和楽器の音色は、利用者様の心に響いた様子です。踊りの細やかな動きに目を奪われ、二段落としての活動的な踊りと太鼓の音には自然と手拍子も大きくなりました。利用者様・職員も輪に入って皆で踊った炭坑節、よさこいソーランでは「どっこいしょ」の声かけも上がりました。地域の方々の協力を得て、まさに見て、聴いて、歌って、踊ってと“皆が一つになった”と思える祭典になりました。何より利用者様のはじけるような笑顔が、それを物語っていました。ST 栗崎では、これからも地域の方々との関わりを大切にしてケアを行っていきたいと思っています。(佐藤)





第3回

# ようざん栗崎春の祭典



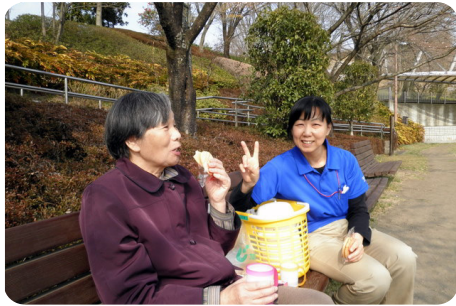
小規模多機能型居宅介護

## ケアサポートセンターようざん石原

暖かな空気、爽やかな風を感じられ、これから木々の緑も元気に育つ季節となりました。“ケアサポートセンターようざん石原”も4月1日にオープンさせて頂き、新たな事業所のひとつとして産声をあげたところです。

烏川散歩コース沿いに立地するのどかで穏やかな環境の中、ご利用

されるお一人お一人のニーズに創意と工夫でお答えできるよう職員一同日々努力しています。まだまだ不慣れな部分もありますが、利用者様には常に笑顔と温もりある空間をご提供させて頂いております。これからも地域に貢献し、地域の中の礎の一つになれるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。(大島)



小規模多機能型居宅介護

## ケアサポートセンターようざん双葉

『マスオさん、ようざんへ行く』の巻

こんにちは、マスオこと栗原です。最近温かくなり着ている上着を一枚脱いでふらりと散歩に出掛ける事が日課になってきました。そうそう、先日はようざん双葉にサザエと出掛けただけけど・・・。

どうも、サザエこと飯島でえ～っす。ようざん双葉では餃子パーティーの最中だったの。みんなで拵えた餃子はとっても美味しそうだったわ。実を言うとマスオさんに内緒で頂いちゃった。みんなの愛がこもって、味は絶品!!また食べにこようかしら?遊んでばかりいるカツオにはぜったいあげないんだから。



ひどいよ、ねえさ～ん!カツオこと後藤です。実は僕も姉さんに内緒で友だちの中島と双葉に遊びに行ったんだ～。丁度土鉢に色を付けて花を植えていたな～。いつもは野球ばかりしているけど、こうして花を見ているっていうのもいいもんだよ。お土産にオリジナル土鉢までもらっちゃった。ワカメにでもあげよーっと。

お兄ちゃんからのプレゼントなんて珍しい、なんだか怪しいわね。ワカメこと小野関です。昨日友だちと花見をしていたら、ばったり双葉のみんなと会ったの。しだれ桜の下で記念撮影をしていたわ。カメラを頼まれてシャッターを切ったんだけど、みんな笑顔でピースしていてとてもたのしそうだったわ。私も大きくなったら双葉に勤めたいな～。そういえば花見の帰りにお父さんにもあったんだ。そのあと寄り道して帰ったんだけどね。



ゴホンッ。波平こと矢島です。

カツオは遊んでばかりいるし、最近ではワカメも口が悪くなって困ったものだ。怒鳴る回数が増えて疲れるわい。この間ようざんの皆様をお客に招いた「第18回よってって交流会、みんなのサザエさん」では磯野家の恥しいところをみられてしまったのう。まあ、みんなが来てくれたお陰で明るいひと時が過ごせて良かったわい。タラちゃんも喜んでたぞ。

タラちゃんこと富沢ですう～。

みんな双葉の人と楽しんでるいですう～。来月はママとお買い物のもとに双葉によってって貰います。どんな楽しい事をやっているか楽しみにしてま～す。(矢島)



ようざん双葉の「サザエさん」は下記のURLで御覧いただけます。

<http://www.youtube.com/user/youzantube>

# 23年5月 イベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2 やきそばパーティー (双葉)	3 南京玉すだれ (栗崎) 生け花デー (双葉)	4	5 オープンカフェ (上並榎) おやつレク (飯塚) 手作りラーメン (双葉)	6 お化粧デー (双葉)	7 母の日イベント (飯塚)
8	9 藤の花見学 (飯塚) 琴と三味線 (石原) 生け花デー (双葉)	10 ギター演奏 (上並榎) むつみ会 (栗崎) 浜川ピクニック (貝沢) お茶会 (飯塚) ふれあいバラエティー (双葉)	11	12 ふれあいバラエティー (上並榎) COUSIN と歌おう (貝沢)	13 西ハーモニカ (上並榎)	14
15 お化粧デー (双葉)	16 生け花デー (双葉)	17	18 おやつレク (上並榎) 岡本ブラザーズ (栗崎) なかよしクラブ (双葉)	19	20 さわやかハーモニカ (上並榎) シャンションショー (双葉)	21 鈴木グループ (貝沢)
22	23 男踊り (上並榎) 石黒グループフラダンス (栗崎) ふれあいバラエティー (貝沢) 生け花デー (双葉)	24 お化粧レク (上並榎) 手作り昼食 (飯塚) ガトーフェスタハラダ工場見学 (貝沢)	25 お化粧デー (双葉)	26 前田せつ子歌謡ショー (貝沢) 南京玉すだれ (双葉)	27 キーボード演奏 (上並榎) 玉村バラ見学 (飯塚) 第19回よってって交流会 (双葉)	28
29 松扇会 (栗崎)	30	31 京ヶ島アコーディオンサークル (栗崎) 生け花デー (双葉)				

訪問介護

## 訪問介護ほから



皆様お元気ですか?訪問介護ほからは、今月も元気に訪問させていただいております。4月14日から4月17日の内覧会、新しい事務所への引越もあり、何かと慌ただしい毎日でした。今月からは、綿貫の事務所から訪問させて頂きます。どうぞ宜しくお願いいたします。桜が終わり新緑の季節になり、いろいろな花が咲き1年でいちばん気持ち良い季節になりました。この良い時期に新しいスタートをきれて嬉しく思います。一人一人の力は小さくとも、全員で研鑽しながら、一步一步前進していきたいと思っております。安心の介護、満足して頂ける介護が出来るように頑張ります。これからもご支援、ご指導よろしく申し上げます。(薄井)

# ようざん事業所案内

事業所名	提供サービス	所在地
ケアサポートセンターようざん	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市上並榎町 1180 Tel 027-362-0300
ケアサポートセンターようざん並榎	小規模多機能型居宅介護	
スーパーデイようざん	認知症対応型通所介護	
グループホームようざん	認知症対応型共同生活介護	
デイサービスようざん並榎	通所介護	
居宅介護支援事業所ようざん	居宅介護支援	
スーパーデイようざん飯塚	認知症対応型通所介護	群馬県高崎市飯塚町 1311-6 Tel 027-370-4355
ケアサポートセンターようざん栗崎	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市栗崎町 141-1 ケアサポートセンターようざん栗崎 スーパーデイようざん栗崎 Tel 027-353-4393
スーパーデイようざん栗崎	認知症対応型通所介護	
ショートステイようざん	短期入所生活介護	
訪問介護ぼから	訪問介護	
ケアサポートセンターようざん貝沢	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市貝沢町 1492-1 Tel 027-386-5043
スーパーデイようざん貝沢	認知症対応型通所介護	
ケアサポートセンターようざん双葉	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市双葉町 22-9 Tel 027-386-9943
スーパーデイようざん双葉	認知症対応型通所介護	
4月開設予定 ケアサポートセンターようざん石原	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市石原町 4516-1 Tel 027-381-6743
4月開設予定 スーパーデイようざん石原	認知症対応型通所介護	
グループホームようざん飯塚	認知症対応型共同生活介護	群馬県高崎市飯塚町 1030 Tel 027-381-6543
8月開設予定 ケアサポートセンターようざん飯塚	小規模多機能型居宅介護	
8月開設予定 スーパーデイようざん飯塚第2	認知症対応型通所介護	
5月開設予定 デイサービスぼから	通所介護	群馬県高崎市綿貫町 750-1

